

下旨久保 25-259 水産庁東北区水産研究所八戸支所
e-mail: hima@myg.affrc.go.jp)

財団法人科学博物館後援会 電話・FAX: 03-5814-6757.

Randall, J. E., H. Ida, K. Kato, R. L. Pyle and J. L. Earle. 1997. Annotated checklist of the inshore fishes of the Ogasawara Islands. National Science Museum Monographs, No. 11, 74 pp., 19 pls.

論文には97科801種の小笠原諸島の沿岸性魚類が収録されています。150種が小笠原諸島から新たに記録された種類です。収録された多くの種類が、水中写真および標本写真で示され、カラーの図は合計117枚に達します。出版部数に限りがありますので、購入希望者は早めにお申し込み下さい。

魚類学雑誌
44(1): 63

「小笠原の魚類」出版のお知らせ

国立科学博物館のMonographs No. 11に下記の論文が出版されました、送料・税込みで2,310円です。購入希望者は、料金を郵便振替でお送り下さい。

送金先：00150-8-22146 財団法人国立科学博物館後援会。

問い合わせ先：〒110 東京都台東区上野公園7-20

(松浦啓一 Keiichi Matsuura: 〒169 東京都新宿区百人町3-23-1 国立科学博物館動物研究部 e-mail: matsuura@kahaku.go.jp)

会記・Proceedings

魚類学雑誌
44(1): 63-68

1996年度第4回懇親会

オークション開催のお知らせ

1997年度年会の懇親会において書籍類のオークションが行われます。売上金は今後の年会に参加する学生へ旅費の一部として援助される予定です。つきましては不要になった書籍類のご寄付をごここで募るとともに、ひとりでも多くの方の懇親会へのご参加をお願いいたします。

オークションに関するお問い合わせは庶務幹事(瀬能:TEL 0465-21-1515, FAX 0465-23-8846; 篠原: TEL 03-3364-7125, FAX 03-3364-7104)まで、書籍のご寄付につきましては今回の会場となる横須賀市自然博物館の林 公義氏(TEL 0468-24-3688, FAX 0468-24-3658)までご連絡下さい。

学会ホームページの開設のお知らせ

日本魚類学会のホームページを開設しました。学会誌の紹介、年会に関する情報などが掲載されています。アドレスは以下のとおりです。

<http://wwwsoc.nascis.ac.jp/isj/index.html>

ホームページに関するご意見、ご要望、新しいアイデア、活用方法等がございましたら、下記までご連絡下さい。

千葉県立中央博物館 川瀬裕司
kawahagi@cc.rim.or.jp

1996年9月17日(火)、於 国立科学博物館分館研究館2階会議室。出席者: 尼岡、沖山、林、大竹、瀬能、篠原、松浦、宮、塚本、上野。

- 前回議事録の確認。
- 報告事項 編集: 11月出版予定の *Ichthyol. Res.* 43(4) と魚雑43(2)の編集作業は順調に進む。今年に入ってから現在までの投稿原稿はすでに70篇(英文60篇、和文10篇)に達した。
- 会計: 1997年度改訂予算案について。庶務: 第17期日本学術会議会員の選出にかかる学術研究団体の登録が9月10日付けで完了した。
- 学会ホームページについて: 庶務から内容の具体案が出され、検討後年会プログラムなどの情報を加えることが決まった。
- 学会オリジナルテレホンカードについて: 価格、販売開始時期および保管場所について検討した。
- 評議員会、総会の議案の最終決定について: 議案について検討・修正を行い、最終的な議案内容を決定した。
- 年会について: 年会開催にかかる学会からの補助金および年会参加費について検討した。役員と開催地運営委員の役割分担について決めた。
- その他: 1) 次回の会長選挙を来年7月に行うことを決定した。2) 文部省科学研究費の新分科細目「自然史科学」の説明と対応の仕方について(松浦氏から)、3) バックナンバーの価格について決め、年会で販売処理することを決定した。

1996年度第5回役員会

1996年11月27日(水), 於 国立科学博物館分館研究館2階
會議室.

出席者：尼岡、沖山、林、瀬能、篠原、松浦、宮、上野、

- 前回議事録の確認。
 - 報告事項 編集 現在までの投稿原稿数は英文誌76篇、和文誌12篇。年内に合計90篇に達する見込み。Ichthyol. Res. 43(4)と魚類43(2)は11月20日付で予定通り出版された。来年より和文誌の主任編集委員が松浦啓一氏から後藤晃氏(北海道大)に交代する。会計 1996年度年会の収支決算について、庶務 学会のホームページ開設の進行状況およびオリジナルテレホンカードの図案について。
 - 1996年度年会の反省:発表数の増加を考慮し、来年度から研究発表を従来の2日から3日に増やすことが決定された。要旨集の中に、それぞれの時間と付記することが決まった。要旨集の印刷費の縮小について検討された。
 - 学会の将来活動について:学生に対する授賞やトラベルファンドについてはさらに情報を収集し、寄付金等の問題とあわせて検討してゆくことが決まった(情報収集は庶務担当)。国内の魚類標本の維持・管理について検討され、今後議論してゆくことが決まった。
 - シンポジウムの規定について:発表者の中に占める学会員の割合について検討された。規定数(2題)以上の申し込みがあった場合について話し合われた。
 - 学術会議研究連絡委員会委員の選出方法について:今回は役員会で選出し、評議員に承認を得ることに決まった。
 - その他:1)自然史学会連合の運営を維持するため、日本魚類学会を含む各学会が連合に対し補助金(2万円)を出すことに決まった。2)来年の役員会等の日程について草案が提出された(庶務から)。

1996年度第6回役員会

1996年12月20日(金), 於 国立科学博物館分館研究館1階
特別會議室,

出版者：尼岡、林、瀬能、篠原、松浦、河野、新井、上野、

5. その他：中島経夫氏（滋賀県博）から書面で依頼のあった琵琶湖国際シンポジウムの後援を決定した。

「生態学琵琶湖賞」募集のお知らせ

滋賀県企画部より下記の推薦依頼がありましたので、お知らせします。

第7回生態学琵琶湖賞の受賞候補者の推薦について

対象：

- ・東アジア地域、東南アジア地域および西太平洋地域に居住し、同地域における研究活動実績において高く評価される人。

・水環境またはこれに関連する分野の生態学研究（関連領域を含む）において、学術的見地から重要な研究成果をあげ、今後の研究の深化が期待される人。

・原則として平成9年4月1日現在、50歳未満の人。

推薦締切日：平成9年6月2日（月）

問い合わせ先：滋賀県企画部企画調整課内 生態学琵琶湖賞

事務局

〒520-77 大津市京町四丁目1番1号

(Tel: 0775-28-3314, Fax: 0775-28-4830)